

高等学校 令和 7 年度 (3 学年用) 教科:人間と社会 科目:人間と社会

教科:人間と社会 科目:人間と社会 単位数: 1 単位

対象学年組: 第 3 学年 A 組 ~ B 組

使用教科書: (人間としての在り方生き方に関する教科 「人間と社会」 東京都教育委員会)

教科 人間と社会 の目標:

- 【知識及び技能】 生徒の自主性、社会性、道徳性を育成する。年齢・性別・人種等、自分と異なる他者への理解を深める。
- 【思考力、判断力、表現力等】 問題解決能力、実践力を伸ばす。他者への寛容の態度を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 社会問題への関心を高め、社会の担い手としての自覚を促す。自ら形成する価値観を高め、より良い生き方を主体的に選択し、行動する力を育成する。

科目 人間と社会 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生徒の自主性、社会性、道徳性を育成する。年齢・性別・人種等、自分と異なる他者への理解を深める。	問題解決能力、実践力を伸ばす。他者への寛容の態度を養う。	社会問題への関心を高め、社会の担い手としての自覚を促す。自ら形成する価値観を高め、より良い生き方を主体的に選択し、行動する力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	全体指導、ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・この科目のねらいについて ・人間関係を築くことについて ・学ぶこと・働くことの意義について 	活動の企画について、事前に学習している	○	○	○	2
	グループワーク 製作学習テーマ決め	・グループワーク	社会に貢献する活動について調べた内容をまとめたワークシート 活動に役立つ考え、知識をクラス内で共有しまとめる また、製作学習に向けて計画が立てられる	○	○	○	2
	製作学習 (1)	・各グループに分かれて製作学習	活動を通して自らの課題を解決できたかどうかについて、自己評価等により行う。評価表に記入して提出する。	○	○	○	8

2 学 期	製作学習（２）	・各グループに分かれて製作学習	活動を通して自らの課題を解決できたかどうかについて、自己評価等により行う。評価表に記入して提出する。	○	○	○	6
	第3章 働くことの意義 第8章 チームを動かす力 第10章 お金の意義 第12章 支え合う社会	・今までの活動を人間と社会のき教科書を理解を深めていく	各章におけるワークシートをもとに理解したことについてまとめる	○	○	○	8
3 学 期	地域の工作教室体験	・工作教室体験の中で人とのコミュニケーションや工作体験の中で地域交流について考える	工作教室の中で自らの成果・課題を振り返りまとめる	○	○	○	4
	成果発表会	これまでの活動について、パワーポイントを用いてプレゼンテーションを行う。	評価表を元にしての反省と課題についてまとめる。	○	○	○	5
							合計
							35